

# 『 学校いじめ防止基本方針 』

那覇市立与儀小学校

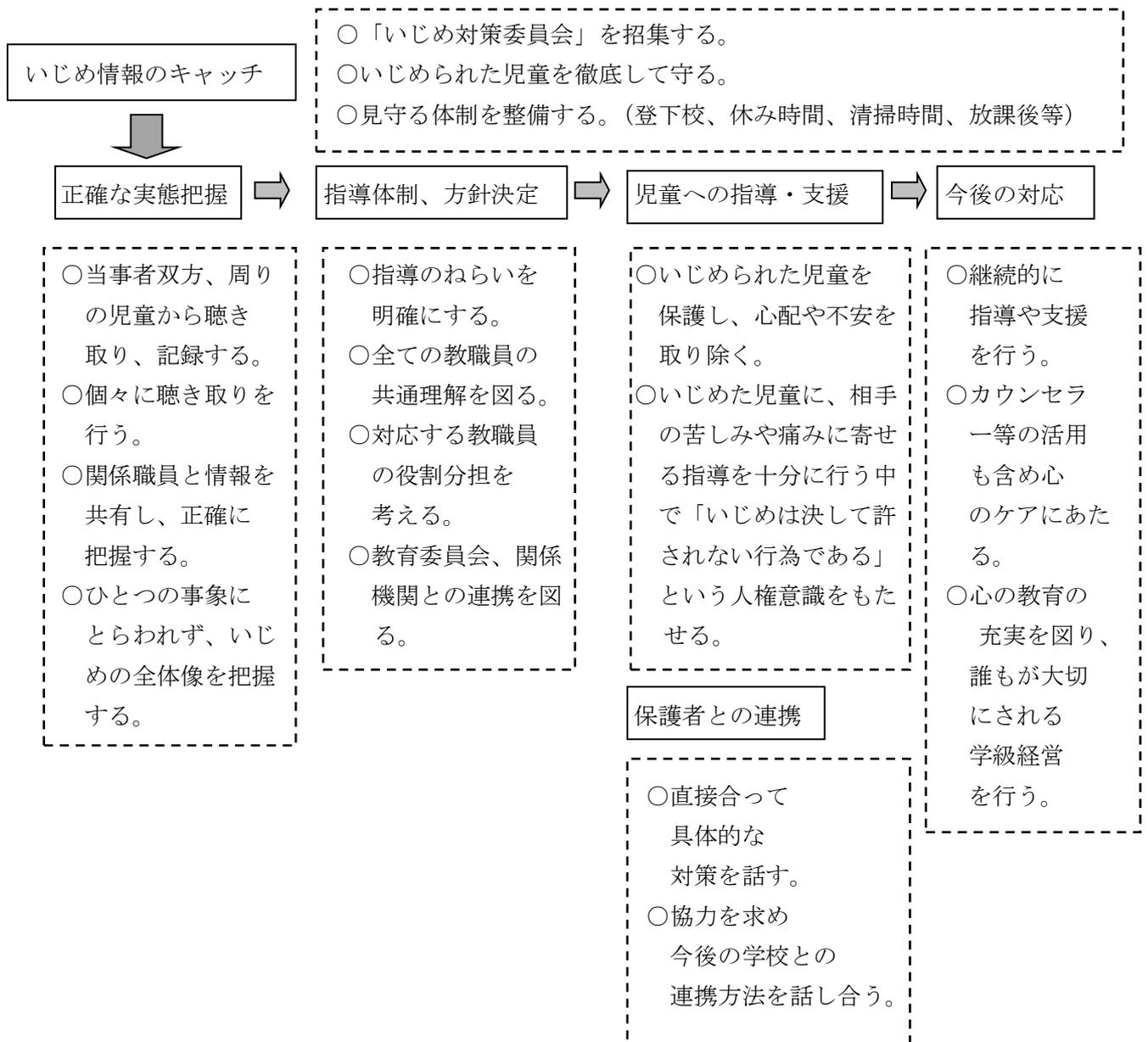
## 1. 本校の基本方針

学校教育目標「心豊かで夢を持ち、たくましく生きる子」を具現化し、将来に夢を持ち実現するために努力をする児童、自他を大切に互いに尊重し合って生きる心豊かな人間性を持つ児童を育てることをめざしている。

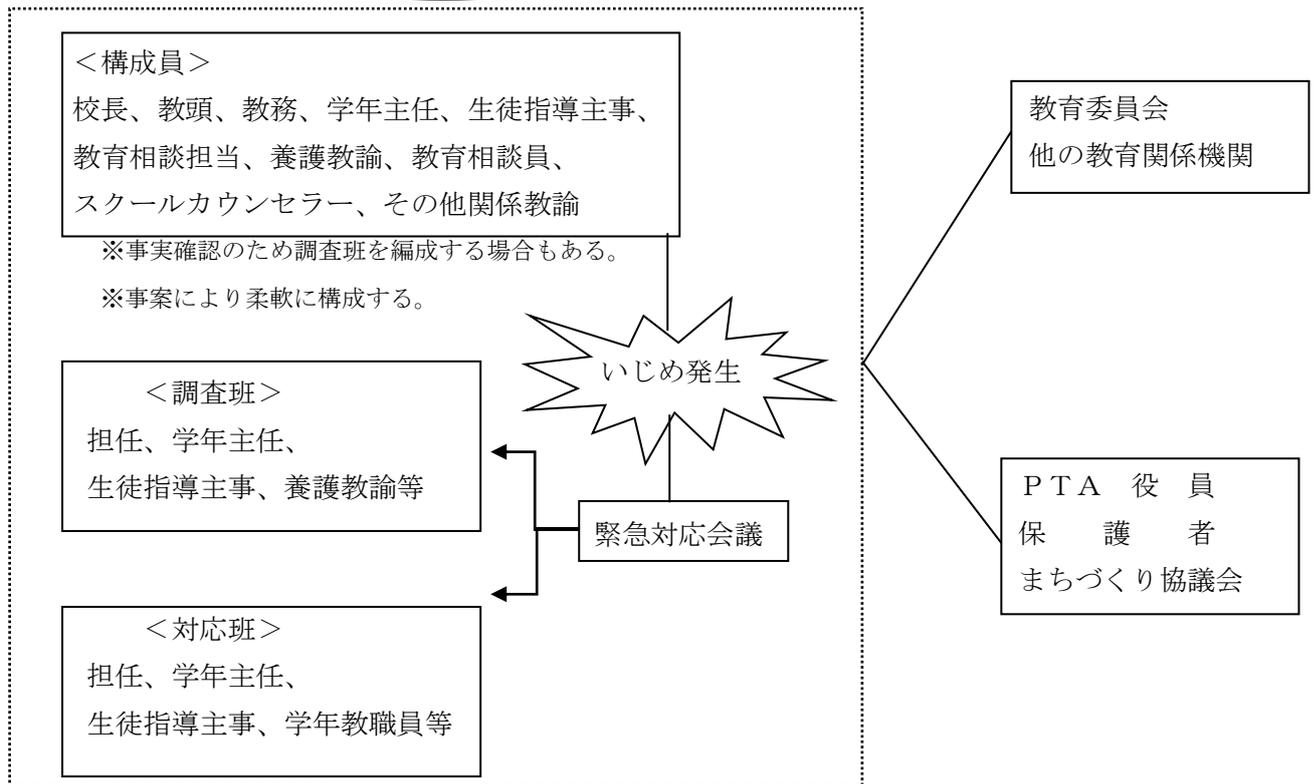
そのために、全ての児童が安心して学校生活を送り、有意義で充実した様々な活動に取り組むことができるよう、いじめ防止に向けて日常の指導体制を定め、いじめの未然防止を図りながらいじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合には適切に且つ速やかに解決するための「いじめ防止基本方針」（いじめ防止全体計画）を定める。

## 2. いじめ防止等の指導体制・組織的な対応

### (1) 日常的な指導体制



いじめ対策委員会



※いじめ対策委員会は生徒指導部会と同時に、毎月第1火曜日に開催する。

※いじめ事案の発生時は、緊急対応会議を開催し、事案に応じて調査班や対応班等を編成して対応する。

※いじめ対策委員会での内容や事案については職員会議において報告し、周知徹底させる。

(2) 未然防止・早期発見

- ・未然防止・早期発見のための手だて

**日々の観察** ～児童がいるところには、教職員がいる～

休み時間や放課後の雑談等の機会に、児童たちの様子に目を配る。

**観察の視点** ～集団を見る視点が必要～

学級内にどのようなグループがあり、そのグループ内の人間関係がどうであるかを把握する。気になる言動が見られた場合、グループに対して適切な指導を行い、関係修復にあたる。

**日記やアンケートの活用** ～やりとりから生まれる信頼関係～

アンケートの活用を図る。気になる内容に関しては、教育相談や家庭訪問等を実施し迅速に対応する。また、必要に応じて気になる児童には日記を書かせたりすることで、担任と児童、保護者との日頃からの連絡を密に取り、信頼関係を構築する。

(3) ネット上でのいじめへの対応

- ・学校の校則遵守の徹底を図る。
- ・ネット上のトラブルについて最新の動向を把握し、情報モラルに関する指導力の向上に努める。
- ・保護者と連携・協力し、陥りやすい心理を踏まえた指導を行う。

<指導のポイント>

- ※誹謗中傷を書き込むことは「いじめ」であり、決して許される行為でないこと。
- ※匿名で書き込みができるが、書き込みを行った個人は必ず特定されること。
- ※書き込みが悪質な場合は、犯罪となり、警察に検挙されること。

(4) その他

### 家庭におけるいじめ発見のためのチェックポイント

- 学校へ行きたがらない。
- 「転校したい」や「学校をやめたい」と言い出す。
- イライラしたり、おどおどしたりして落ち着きがなくなる。
- 衣服の汚れが見られたり、よくケガをしたりしている。
- お風呂に入りたがらなかつたり、裸になるのを嫌がる。
- 学用品や所持品を紛失したり、壊されたりしている。
- 教科書やノートに嫌がらせの落書きをされたり、破られたりしている。
- 食欲がなくなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かったり、眠れなかつたりする日が続く。
- 愁いに満ち、表情が暗くなる。
- 部屋に閉じこもることが多く、ため息をついたり、涙を流したりしている。
- 先生や友だちを批判する。
- 親に隠し立てをすることが多くなる。
- 家庭から物品やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 親しい友だちが家に来なくなり、見かけない者がよく訪ねてくる。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟、祖父母等に反抗したり八つ当たりをする。
- 外に出たがらない。
- 学校の様子を聴いても言いたがらない。
- 電話に敏感になる。
- 友達からの電話にていねいな口調で応答する。
- 不審な電話や嫌がらせの手紙や紙切れなどがある。
- テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。
- 親の学校への出入りを嫌う。
- 友だちのことを聴かれると怒りっぽくなる。
- 「どうせ自分はだめだ」などの自己否定的な言動が見られ、死や現実を逃避することに関心を持つ。

沖縄県いじめ対応マニュアル「いじめの早期発見・早期対応」より

☆☆お子様に気になる様子が見られましたら、学校へ相談ください。☆☆